



Walden Pond Times

MARCH 2018 Vol.31
＝犬とドイツの素敵な関係＝

全国的に寒波が訪れたこの冬ですが、ようやく春が訪れようとしています。今年には戌年！ということで、ドイツの新ストーブブランド、「アイアンドッグ」にかけて犬の話題をお届けします。ぜひお付き合いください。

ことわざにも表れる？
ドイツ人の犬好き

ヨーロッパでは、「犬と子供はドイツ人につけさせろ」ということわざがあるのをご存知でしょうか？なんとなくわかる気のあるこのことわざ。これは本当なのでしょう。

犬と暮らすために、犬税。(Die Hundesteuer)

ドイツで犬を飼うことになった時、まずしなければならぬこと、それは、「犬税」を納めることです。自治体によって差があるものの、一頭あたり年間日本円で一〜二万円程度の額です。決して安くはない金額ですが、実はこれは無責任な飼い主を減らすための対策で、犬たちは外出時、首輪に納税証明となるプレートを付けることになっています。

ドイツ流「犬の学校」

ドイツでは、所構わず吠えたり、お行儀の悪い犬はまわりから白い目で見られます。そこで不可欠なのはしつけ。多くの犬はしつけ教室「Hundeschule」(フンデシュール)に通い、人間との生活の中で落ち着いた行動ができるようになるまで訓練を受けるのが一般的です。もちろん飼い主も一緒に通い、犬との接し方などを学んでいきます。

このフンデシュールは日本のしつけ教室よりも身近で、多くのトレーナーが存在します。犬と飼い主はこうした厳しい教育を共に受け、信頼関係を築いていきます。

動物愛護の国、ドイツ

ただでなく動物愛護に厚いドイツでは、飼えなくなった、または迷子になった動物たちは、保健所に直行して処分されることはありません。動物たちのシェルターとも言える「動物の家」(Tierheim) (ティアハイム)に引き取られ、そこで保護されながら次の飼い主を待つこととなります。多くの動物たちがそこで新しい家族と出会い、第二の人生ならぬ「犬生」や「猫生」を迎えています。

犬天国とも呼ばれるドイツ。犬好きだけでなく、共に暮らすための人々の努力があつてこそ、本当の天国と

犬についての豆知識 その巻

犬の数え方は 頭？匹？

基本的には、抱えることのできる大きさの小型・中型犬は匹、大型犬は頭で数えます。ただし、人間とともに仕事をしたり、暮らすために教育された犬たちは「頭」で数えることになっているそうです。

犬についての豆知識 その巻

犬の数え方は 頭？匹？

基本的には、抱えることのできる大きさの小型・中型犬は匹、大型犬は頭で数えます。ただし、人間とともに仕事をしたり、暮らすために教育された犬たちは「頭」で数えることになっているそうです。



↑ Instagram キャンペーン” #myirondog” 実施中！詳しくはエープラス公式 Instagram へ。

STOVE 塾

ベテランも必読！
煙と不完全燃焼を防ぐ
上手な焚き方とコツ

以前にもご紹介しましたが、引き続き煙の出にくい上手な焚き方を身につけてみましょう。

もしも薪ストーブはもくもく煙が出て当然、と思っていられしやる方がいるのなら、それは大きな誤解です。近隣の影響や大気汚染、また火災などの出ない焚き方にも、煙は大切です。

ここをチェック！
不完全燃焼

カンキョウイエロー

煙突から臭いのある煙が出ている。

カンキョウグリーン

ガラスの内側やストーブ内部がスで黒い。

目にも見える煤や煙は、燃えきらなかった可燃性物質です。煙突にも知らないうちに、燃料となる煤やタールが堆積します。コツをつかんで、いつも適切な焚き方をすれば、事故も大気汚染も防止できます。

不完全燃焼のリスク

薪の不完全燃焼が起因となるリスクには次が挙げられます。

第一に、煙突内の煤やタールが燃える煙道火災と、そこから延焼や類焼に発展する危険性。

第二に、見えない一酸化炭素の生成と漏洩による、中毒の危険性。

誤った焚き方で不完全燃焼が続けると、大事に至るリスクが高まります。近隣へも迷惑をかけているかもしれません。

不完全燃焼に至る要因とは？

燃焼空気を減らし過ぎる

↓燃焼に必要な酸素の供給が不足すると、可燃性ガスが燃えきらずに煙や煤に。

・薪に残留する水分が多い

↓蒸発潜熱によって温度上昇の妨げとなり、揮発した可燃性ガスが燃えきらない。

・薪が大きすぎる

↓温度上昇に時間がかかり過ぎ、スムーズな引火が妨げられる。

・薪と薪や、燃焼室の内壁と薪が隙間なく密着

↓燃焼空気や炎の流れが妨げられ、燃焼ガスと酸素、燃焼に必要な温度が乱れ、燃えきらない。

・薪が多すぎたり、燃え盛る最中に次の薪を補給

↓可燃性ガスの揮発量が多過ぎて酸素量が足りず、燃えきらずに煙や煤に。

これで撃退！不完全燃焼

- ★ いつも煙突の煙を気にする。
- ★ 燃焼空気を適正に供給する。
- ★ 燃焼の最盛期ではなく、燃火の終盤で、適正な大きさで適量の薪を補給する。
- ★ ストーブの中に残る燃火に薪を蓋をするような、びたりと密着した入れ方をやめる。
- ★ 薪同士が交差するよう不規則に組み、隙間から美しい炎が燃え上がるように補給する。

Owners Club NEWS

*春のメンテナンスキャンペーンが始まります。

そろそろ新ストーブシーズンも終了。エープラスグループでは、春のメンテナンスキャンペーン受付を開始いたします。シーズンオフにお得な価格で、プロのメンテナンスを実施しませんか？

便利な毎年契約もあり、都度お申し込みいただかなくても、ご希望の時期にキャンペーン価格でメンテナンスに伺います。詳しくは別紙をご覧ください。

*エープラスガーデン web サイトが OPEN!!

エープラスの手がける BBQ グリルや薪割り機などのパワープロダクト、ガーデニング用品などを紹介する新しいウェブサイト、「エープラスガーデン」がオープンしました。

「火のある暮らしを楽しもう」をコンセプトに、「BBQ」、「薪割り」、「ガーデニング」などそれぞれのジャンルで私たちが「The BEST」と感じ選んだものをご紹介します。Check it out!!

*クラフトグリルがギフトショー 2018 にて W 受賞！

1/30〜2/3 まで東京ビッグサイトにて開催された「ギフトショー 2018 春」において、「クラフトグリル by CASUSGRILL™」が、

- ・ベストサステナビリティ賞
- ・ベストプレス賞

を W 受賞いたしました！

全て土に還る、自然に優しいクラフトグリルから、今年も目が離せません！

*i-na movies に協力させていただきました。

エープラス本社のある長野県伊那市が数年前から始めたプロジェクト、「イーナ・ムービーズ」。新作『森のこえ』は、豊かな森によってもたらされる「エネルギーの循環」がテーマ。私たちも撮影にご協力をさせていただきましたこととなりました。

森から生まれた薪が、市民の皆さまに使われている様子が紹介されています。

Walden Pond Times (ウォールデンポンドタイムズ) は株式会社エープラスがお届けしています。

aplus group The Best Products with The Best Service.

- PS.W 神楽ストーブ
- 木ごこち
- ディーエルディー
- 美山ウッドエンジニア
- 里山ストーブ
- Sora Design
- ケイズ
- カントリー工房
- コネクト
- 共栄木材
- NEST design
- 大分薪ストーブ
- エクサ
- Nature Style



出張レポート 2018 春

今回は、アイアンドッグのふるさと、ドイツ・バイエルン地方から、州都ミュンヘンをレポートいたします。
オーストリア国境の近く、エッゲンフェルデンにあるブルナー社には何度も来ているのですが、ミュンヘンにはついぞじっくり訪れたことがありませんでした。
ミュンヘンといえば、オクトーバーフェストが有名なように、夏から秋にかけてが最高の季節。
しかしながら今回の、雪のミュンヘンも大変美しかったのでそのあたりをお届けしようかなと思います。



ミュンヘン地下鉄Uバーン。車番の下には僧侶を表した市章が。方言で僧侶はMunchn（ミュンヒン）これがミュンヘンの語源だそう。

今回の出張は、資材部に所属する長男と二人で。せっかくなので、土曜日のフライドで夜ミュンヘンに入り、ブルナーを訪問する前の日曜日に、ゆつくり観光をしようと考えたわけ。

空港からは市内を走る都市近郊鉄道、Sバーンが便利。空港の地下からミュンヘン市内へ直通で運行されています。この日はミュンヘン中央駅のすぐ脇にあるホテルを予約したので、全くストレスなくチェックインができました。ただ外は大雪。
雪の中歩くのが嫌だったのと、駅の雰囲気も良さそうだったので、中央駅の中でレストランを探すことにしました。
駅構内には様々なレストランやショップがあります。やはりここはビールとバイエルン料理、とも思ったのですが、ピザを中心としたイタリアンレストランが活気があり、なんとなく吸い込まれてしまいました。しかしこれが当たり。ちょうどピザを作る調理台脇の席だったので、ピザ職人が生地を捏ねている様子も堪能できました。



BMW博物館へ市中心部へ市内の移動は地下鉄のUバーンで。中央駅から一回乗り換えただけで、BMW博物館へは二〇分くらいで到着しました。
ミュンヘンを中心とするバイエルン地方は、経済的に大変発展していてBMWやアウディなど国際的な企業が本社を構えます。というわけで何はともあれBMW博物館へと向かいました。少し昔の車好きの私にとって、博物館に並んでいた車は若い頃の憧れの車。特に小型の2002シリィズはなんとも言えない雰囲気がありました。



中央駅構内のイタリアンレストラン、二人で一人前のピザを隣のお姉さんは一人でべろっ

BMW 本社 エンジンのシリンダーを表しているのだそう 左のお椀型の建物が博物館



ミュンヘン風スープとクヌーデル、そしてビール

美しいミュンヘン、まもなく春がやってきます。冬から春に移り変わる時期もとても美しいと聞きます。ぜひ、訪れてみてください。
（エープラス社長 三ツ井）

バイエルンの人々は、歴史的な背景や、経済的・地理的影響から、独特な文化や思考を持っているようです。仕事の関係でバイエルン以外のドイツ人と話をすると、『あそこへ行くにはパスポートとがいる』と言うほど。それほど独特な文化を持っているバイエルン人ですが、ひとたび心が通じ合うと、とても暖かく、親身になってくれます。二〇一四年からブルナーとともに仕事をするようになり、ますますその魅力がわかってきました。



市の中心、マリエン広場。中央にあるマリア像にちなんで付けられたそう。写真は広場の北側に位置する新市庁舎で、1867年から建設が開始されたネオ・ゴシック様式の建築。敷地は9,158㎡もあるのだとか。仕掛け時計や展望台なども備え、市民や観光客を楽しませてくれます。



a+TOOL&COOKING 撮影レポ in 愛媛県伊予市 ストープショップ三秋の森
三秋ホール
株式会社共栄木材
OPEN 8:00~17:00 (土日祝は予約制)
〒799-3124
愛媛県伊予市三秋 1130-1
T.089-983-5733
http://www.kyoei-lumber.co.jp/site/miakinomori/



う、お料理上手でした。大森さんのアイデアで、生産量日本一を誇る愛媛の鯛でレモン蒸し。付け合わせはフォカッチャと、春を存分に感じさせてくれるメニューでした。
撮影をさせていただいた三秋ホールは、建築家手島保氏の設計。共栄木材の西下社長とは旧知の仲だとのこととで、同社で取り扱っている建材をふんだんに使った趣きのあるホールです。その佇まいや、そしてショールームから眺める景色は一見の価値あり！松山市街や道後温泉からも近く、ドライブにもおすすめです。
この撮影旅行では、愛媛県内のお客様のお宅で素敵な薪ストーブ設置例をたくさん撮影させていただきました。来シーズンのカタログやウェブサイトなどで公開いたしますので、ぜひお楽しみに！



☆Vol.17掲載レシピ・鯛のレモン蒸し・フォカッチャ



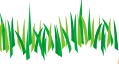
ウリボー：山の中を歩くのは、気持ちがいいね！
マキ先生：そうだね！先生も大好きなんだよ。
ウリボー：あれ、山の中だけどこは木が皆伐られてしまっって、草地みたいになっっているよ。
マキ先生：そう、最近皆伐されたんだね。植えた木は六十年も経つと収穫期。この辺の山も収穫期を迎えた森が多いんだ。
ウリボー：田んぼ言えば、稲刈りの時期というわけだね。
マキ先生：その通り。ほら森の中をよく見てごらん。小さいけど苗木が植えられているのが分かるかな？
ウリボー：あ、本当だ。小さいけど木が植えられているんだね。こんな小さな木が大木になるって不思議だね。

マキ先生：そう、そして周りをネットで囲ってあるんだよ。
ウリボー：何のためのネット？バレーかテニスでもやるのかな？
マキ先生：山の中じゃそれは無理だよ。シカが苗木を食べしてしまうので、シカが入らないようにネットがあるんだ。
ウリボー：シカは苗木が好きなんだね！僕はイモの方が好きだけだね。
マキ先生：シカも本当は苗木は好きじゃないんだけど、増え過ぎたので食べ物がないから何でも食べちゃうんだ。
ウリボー：へー。ネットを張るのは大変だから、もっと良い方法は無いのかな。
マキ先生：ほら、そこに歩きやすい道みたいなのが作ってあるでしょ。
ウリボー：気持ち良い散歩道だね。



ウリボー イノシシ小学校 3年生の男の子。自然や環境問題に興味がある。

まき先生 ウリボーの小学校の担任の先生。環境のことにくわしい。



まき先生 ウリボーの小学校の担任の先生。環境のことにくわしい。

季刊で年四回みなさまのお手元にお届けしている、ToolCooking。
今回は春号ということとで、ぜひ暖かいところで撮影したい！と言うことになったのが、寒さ極まる年明けの一月。全国のディーラーをまわり、積極的にご紹介させていただきたいという思いもあり、四国は愛媛県・伊予市の正規ディーラー、共栄木材の『ストープショップ三秋の森』を訪ねることに決まりました。
荷物を載せていくため交通手段は車です。出発は朝四時と、なかなかハード。片道八時間という道のり、いつもカタログなど発行物を全般的にお願いしており、今回も同行いただいたエイピース代表の佐藤さんにすっかり運転を託してしまいました・・・。

海のない長野県民なら誰しもテンションの上がる明石海峡、鳴門海峡を超え、いよいよ四国。しかしここから愛媛までが意外と長い・・・。そして、大寒波が四国にもやってきていたため、徳島道は雪が降っていました。
お昼ごろ伊予市に到着。飛行機で一足先に到着していたカメラマンの寺澤太郎さん、お料理を担当してくださる大森まゆみさんと合流し、いざ撮影開始となりました。
今回は、(株)共栄木材のショールームに併設する多目的ホール、「三秋ホール」に設置されているアイアンドッグ・ToolCookingでの撮影。その個性的なビジュアルから、お料理とはかけ離れたイメージでしたが、ストウブのココットが意外と似合